

◆ 師崎層群の発掘調査

名鉄海上観光船が航走する知多半島の先端 師崎で40年ぶりに深海生物化石の発掘調査

知多半島の先端の師崎港～河和港、日間賀島、篠島を結ぶ名鉄海上観光船の地元で、40年ぶりの「師崎層群の発掘調査」が行われた

知多半島の深海生物化石群は、1993年に発見の概要がまとめられて以降、その奇跡的な保存状態から世界的に有名になった。理由は魚化石に腹部の脂肪分の油や眼の構造まで残されており、本来なら腐ってしまう軟体部まで残っていることが発見されたこと。中でも、世界が驚いたのは深海魚に見られる発光器まで完璧に保存されていたことによる。

新たな発見が続々と報告されるようになり、さらなる研究のため10月21日～24日の間、40年ぶりに追加標本を探す発掘調査が行われた。

世界第一級の深海生物化石発掘調査プロジェクト

プロジェクトでは、発掘調査報告会、展示会、発掘体験会、オンライン講座などの教育的事業を開催する予定。

「師崎層群の発掘調査」が必要な理由は、その希少性にあり、気候変動や海の多様性は深海が重要なカギを握っていることが知られるようになり、師崎層群に再びスポットライトが当たり始めた。新たな標本が必要になり、40年ぶりの発掘調査に期待がかかっている。

◇ 発掘調査プロジェクト日程 2021年10月21日～12月19日

愛知県に自然史博物館を！

愛知県が全国で唯一、県立の博物館を所有していない実態について、県議会でも問題が提起され、2019年7月30日には大村秀章知事に陳情が実施された。